



# 東京アカデミー(予備校)と専門学校の違い

公務員を目指すにあたって、予備校と専門学校があります。実際にご来局いただいた方からも『東京アカデミー(予備校)と専門学校の違いがわからない』との質問を多く受けます。そこで、予備校である東京アカデミーと専門学校の違いを独自の調査結果をもとに【筆記試験対策編】【人物試験対策編】【合格実績編】に分けてご紹介します。

## 【筆記試験対策編】

| 比較            | 予備校(東京アカデミー)   | 専門学校(A学校)                              | 違い  |
|---------------|--|--|---|
| 学費            | 全日制 549,500円<br>夜間部 249,100円<br><small>※いずれの学費も12月生です。</small> | 1,960,000円                             | この授業料の違いは通学期間です。専門学校では、約2年間の通学を経て試験に臨みます。東京アカデミーでは、約9ヶ月(短くて約2ヶ月)で合格を目指します。また専門学校では授業料以外の費用がかかることもあります。  |
| 受講期間          | 最長9ヶ月間<br>最短で2ヶ月   | 1年間or2年間                               | 東京アカデミーでは、短期間で公務員試験に合格するためのカリキュラム編成をしているため、効率良く学習ができます。専門学校では、約1~2年間の通学期間のなかで様々な授業(キャリアアップを図るための資格取得など)があり、公務員試験にはあまり関係のない学習も実施しています。例)憲法、民法、行政法...大卒程度の公務員試験の専門科目となり、高卒・短卒程度の公務員試験では必要ない科目です。パソコン実習...試験には出題されません。 |
| 総時間           | 全日制 504時間<br>夜間・日曜部 162時間<br><small>※いずれの総時間も12月生です。</small>   | 約1,700時間<br><small>※2年間の総時間です。</small> |   |
| 入会時期          | 12月、1月、4月、<br>6月、7月  | 原則4月のみ                                 | 専門学校では、高校卒業後、入学式などの行事を経て、5月頃から学習がスタートします。一方で、東京アカデミーでは12月から講座が始まり、いつからでも学習を始めることができ、短期間で効率良く合格を目指せます。また高校在学中に現役合格を目指すことが可能です。   |
| 過去問題          | 聞き取り調査による<br>最新の過去問題集  | 公表問題及び<br>古い過去問題集                      | 非公表の多い過去問題。使用する問題集は、受講生からの聞き取り調査のもとに作成されるため、毎年改訂されて、非常に貴重かつ有効な問題集です。いつまでも古い年度やすでに公表されている国家系や特別区などの過去問題を使用する専門学校の教材と、是非見比べてみてください。   |
| 模試の<br>受験者数   | 21,386名<br><small>※2017年度<br/>全6回受験者のべ人数</small>               | 非公表                                    | 東京アカデミーでは、年間6回の模試を実施します。実施回数に加え、受験者数21,386名(全6回)という全国最大規模の模試です。そのため、合格可能性判定はもちろん、あらゆる角度から受験者の成績を分析できるため、模試ごとに学習内容を見直せます。受験者が多いほど、成績判定の精度があがり、有効なデータとなります。   |
| 新教養試験<br>対策   | 有  | 未定                                     | 平成30年度(2018年度)から統一試験日の教養試験を大きく変わりました。関西でもこの教養試験を変える自治体が目まれ、対策は必須と言えます。東京アカデミーでは独自の調査により、変更後の問題を入手しており、実情に合わせた講座を提供します。専門学校では、今のところ新教養試験の対策を実施する予定はないようです。   |
| 復習            | 基礎リピートゼミ<br>前期・後期<br><small>※有料講座</small>                      | 特定の実施設定が<br>ない                         | 特に出題数の多い一般知能(判断空間、数的資料、政治、経済)は、授業を受けるだけでなく、繰り返し学習が必要となります。そこで、東京アカデミーでは、復習期間を設けることで、理解度のアップを図ります。もちろん、基礎学力に不安のある方にもおススメです。  |
| ステップアップ<br>方式 | 基礎→応用→実践   | 無                                      | 闇雲に過去問題をこなしても、成績は上がりません。段階的に学習していくことで、本試験に必要な力が身に付きます。東京アカデミーは、基礎→応用→実践とその時期に応じたレベル、問題を実施していきます。専門学校では、文部科学省に定められた授業時間数をもとに、万遍なく実施されます。   |
| 講師            | 科目ごとに<br>専門講師が担当   | 1人の講師が<br>複数科目を担当                      | 専門学校では、ある学年に関しては、1人の講師が複数の講義を実施するのに対し、東京アカデミーでは、科目ごとに講師が異なります。講師は、担当する科目に関して、長年指導しているため、豊富な知識量はもちろん、出題傾向も把握している方々ばかりです。   |

## 【人物試験対策編】

| 比較        | 予備校(東京アカデミー)        | 専門学校(A学校) | 違い  |
|-----------|---------------------|-----------|---|
| ステップアップ方式 | 基礎→応用→実践            | 無         | 筆記試験同様、闇雲に練習をこなしても、人物試験はなかなか突破できません。面接の主旨や流れ、面接官の評価ポイントなど、様々な情報を知った上で、面接練習に取り組むことで、回答内容が変わってきます。面接練習を繰り返し実施する専門学校では、ただ時間だけが過ぎてしまいます。                      |
| 面接・添削指導者  | 専任の専門スタッフ<br>および、講師 | クラス担任のみ   | 本試験では様々な面接官によって評価されます。年齢・役職・性別が多様で、その方々に応じてアピールする必要があります。東京アカデミーでは、面接指導者が、(若手、ベテラン交えて)最低4名いますので、様々な角度から評価が得られます。  |
| 質問事例集     | 有                   | 無         | 東京アカデミーでは、「パーフェクトガイドブック」等の豊富な面接試験情報をもとに、面接指導を行います。「パーフェクトガイドブック」とは、全国の職種別や自治体・市町村別に、面接実施内容を細かく掲載された情報誌で、毎年多くの受験生からの情報提供によって編纂されています。根拠ある情報をもとに、面接試験に挑みます。 |

## 【合格実績編】

| 比較     | 予備校(東京アカデミー) | 専門学校(A学校) | 違い  |
|--------|--------------|-----------|---|
| 合格者数   | 実人数          | のべ人数      | 専門学校では延べ人数で合格者数を掲載しているのに対し、東京アカデミーでは、実人数で掲載しています。これは、合格者数に自信を持っている証拠です。<br>実人数とは…合格された受講生を1人としてカウント<br>延べ人数とは…1人の受講生が複数の試験に合格された分だけカウント   |
| 年度     | 単年度          | 複数年度      | 専門学校でも、もちろん合格実績の説明はありますが、複数年度の合算の数字です。ただ、東京アカデミーでは、皆様に信頼していただくために、複数年度の合算ではなく、単年度の合格実績を掲載しています。   |
| 合格表記   | 信憑性が高い       | 信憑性が低い    | 合格の表記は、学校によって様々です。東京アカデミーの表記には、有料講座受講生のみの実績で、模試のみ、教材購入のみ、イベントのみの方々は一切含まれておりません。また、有期限雇用職員や非常勤職員、農業協同組合や社会福祉協議会、みなし公務員(郵政・鉄道職等)の合格者も一切含まれておりません。それに対し、専門学校の表記には、『一次合格率(最終合格率)が90%台』と非常に高いと印象付けられます。ただ、近郊の各自治体の一次試験合格率は約30~40%、最終合格率は約10~20%程度です。この高い合格率は本当なのでしょうか? |
| 高校現役合格 | 可能           | 不可能       | 専門学校は高校在学中には入学できません。ですので、高校卒業後、1~2年の通学を経て、公務員受験に挑みます。東京アカデミーでは、高校在学中に通うことができ、現役合格を狙えます。   |